

# 女性のデジタル人材育成プロジェクト【神戸市】

個別事業費	9,686 千円
交付金額	7,264 千円

## 地域の実情と課題

- コロナ禍を経て、テレワークの普及やビジネスモデルのオンライン化が進み、情報通信業では人手不足感が高まっている。
- 女性の就業率が他の政令市と比べても低い現状があり、在宅ワークの促進など女性の多様な働き方を支援する必要がある。

## 事業の特徴

○①在宅ワークと親和性の高いデジタルスキル(Webデザイン、Webサイト構築、写真・動画編集等)を習得するデジタル人材育成講座と実際の仕事体験や仕事獲得に向けたサポートを併せたプログラムと、②企業に求められているDXとRPAのデジタルスキルの習得と就労支援をあわせたプログラム、の2講座を実施した。

## 事業の効果

- 在宅ワークと親和性の高いデジタルスキルを身に着けたうえで実際に仕事の受注に至るなど、デジタルスキル習得から就労までを一体的に支援することができた。
- 企業の業務改善に役立つDXとRPAのスキルを習得するとともに、企業との就職マッチング会の開催により、就労までを一体的に支援することができた。

## 目的・目標

女性のデジタルスキルの習得と就労支援の実施により、デジタル業界への労働移動を促進し、女性の就業獲得・所得向上、多様な働き方を支援する。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	多様な働き方の推進、女性の就労・スキルアップへのさらなる支援(支援件数)	3,000人 (アウトプット)	3,318人	111%
事業KPI	女性デジタル人材育成講座参加者数(実人数)	50人 (アウトプット)	41人	82%
	講座参加者のうち、半年以内に就労につながった数(実人数)	20人 (アウトプット)	11人	55%

## 連携団体

神戸商工会議所や経済団体、兵庫県経営者協会

## 今後の課題

- 在宅ワークと親和性の高いデジタルスキルを身に着けても、実際に仕事を獲得して収入を得ることができる事例が少ない。
- DXとRPAのデジタルスキルの受講者と企業とのマッチング会において、受講者の希望業務と企業の需要が合致しなかった。

